

ワンショットアンダーパピーの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	ワンショットアンダーパピーの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	ワンショットアンダーパピーを読んだことのある20代～40代の男女10名
調査期間	2025年1月28日～2025年1月30日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/one-shotandapapi/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: ワンショットアンダーパピーを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

回答	回答数
20代女性	1名
30代女性	1名
40代女性	3名
30代男性	4名
40代男性	1名

Q2: ワンショットアンダーパピーの面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

ゆなは女の子らしい見た目でもとても可愛いのに、実際は腹黒で、頻繁に童貞を食い散らかしている所に驚きました。新たな童貞カメラマンと待ち合わせしてウキウキのゆなだったけど、想像とは違うイケメンが現れて、啞然としてしまうゆなが面白かったです。ゆながイケメンを誘惑しようと色んな

手を使うも、気にもとめないイケメンが面白かったです。

ゆなちゃんの性格とか洋服とかが、結構リアルだと思います。もちろん全員ではないのですが、今どきの地雷系の子って繁華街に出入りしていたり、インフルエンサーとして活躍している子が多いです。そう考えてみると主人公のゆなちゃんは結構実在していそうなリアルなキャラクターだと思います。すぐ調子に乗ってしまうところもとてもかわいかったです。

冒頭からコスプレが趣味で、キモオタ童貞を「卒後させてあげた」と豪語するぐらいの清楚ビッチな黒髪ツイテールJK、というオタク好みの理想を詰め込んだような小生意気でかわいいヒロインが描かれ、どんなエロシーンが見られるんだ！？とページをめくる期待感が高まっていった。途中からは「分からせ」というジャンルに分類される展開になるが、最初は圧倒的な優位な立場だと認識していた生意気なヒロインが精神的、やがては肉体的に徐々に屈服していく様がとてもエロく興奮して良い漫画でした。

生意気で高飛車な女の子であるゆなが、イケメン男子と出会ったことで一気に立場を逆転されてしまうところにワクワクしました。前半の生意気な描写があるからこそ、後半の展開の盛り上がり引き立って最高でした。男の攻め方も容赦なく、ゆながどんどん言いなりにされてしまう感じにも興奮しましたし、ゆなのロリ系なビジュアルも個人的に好きなポイントでした。

この作品のヒロインゆながとても魅力的ですね。まずビッチな主人公ということですのでぐくみていてエロいです。自分のフォロワーに自ら連絡して撮影会を開いている大胆な姿に何だか面白さがありました。ある日の撮影会で、ひさしぶりにイケメンが撮影会に来てくれてテンションが上がっている姿が微笑ましいです。真性のビッチなので撮影の最中もエッチのことしか考えられないゆなの姿から目が離せません。

作中ゆなの撮影会にムックというマスク姿のイケメンがやってくるのですが、このキャラの反応が特に面白いですね。ゆながムックに色仕掛けを繰り返していくのですが、とてもクールな対応をしているのでその場面がシュールで笑えます。その後、行為をすることになるムックとゆなのですが淫靡な絡みに凄く見ていてムラムラが高まりますね。

オタクどころか男性全般、なんなら自分以外の女の子も軒並み見下してそうなヒロインを容赦なく攻めてひんひん鳴かせる展開が気持ち良すぎます。お前らこーゆーの好きなんだろ？って心の声が透けて見えるような狙いすぎのゆなちゃんのビジュや、ムックこと椋くんがイケメンだと知ったとたん手の平クルーでメスの顔になるところ等も、いい感じにイラッとさせてくれて興奮を煽りました。

ヒロイン・ゆなちゃんの見たと導入部分からキモヲタに「わからせ」られちゃうお話かと思いきや、ムックの素顔にまずビックリさせられ、なるほどコイツが実はヤベーやつなのねと思ったら、調教要素はあるものの全然鬼畜な目には遭わず、最終的にウインウインな感じでまとまるという、予想をどんどん覆してくるストーリー展開が楽しめました。顔立ちやファッションはロリ系アイドルなのに脱ぐとしっかりボリュームと張りがあるおっぱいなのも意外で良かったです。

男心を手玉にする悪人なのです。なのですが、ヒロインがとにかく魅力的です。こんな子なら騙されてもいいって思えてしまいます。くるくると変わっていく表情。JKって、しかもこんなにも可愛いのであれば無敵ですよね。ですがそんな彼女の魅力にみじんも動かされないイケメンが現れた。これからどうなっていくのかも気になっちゃいました。

「ワンショットアンダーパピー」を読んで、主人公ゆなの大胆で奔放なキャラクターと、それに対抗するムックの冷静さの対比がとても印象的でした。特に、ムックが最初は無反応に見えても、その裏に隠された計算や意図が徐々に明らかになるところが面白いです。ゆなの挑発的な態度が次第に崩れていく様子は物語としての引き込み力が抜群で、心理描写も丁寧に描かれているので、思わず感情移入してしまいました。独特の緊張感と、後半に向かうにつれて高まるストーリーのテンポ感が素晴らしく、一気に読んでしまいました。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス
